



おおさかパルコプ

発行/生活協同組合おおさかパルコプ
大阪府東区東野田町1-5-26
発行責任者/奥井 和久 編集/理事会室

能登半島地震支援
臨時号<2>

<http://www.palcoop.or.jp>

被災地に寄り添う活動をすすめています

1月1日の能登半島地震発災以降、地元のコープいしかわが基本窓口となり、日本生協連・コープ北陸などと連携して全国の生協職員が支援活動にあたっています。パルコプも要請に応え、配送や福祉現場などに職員を派遣し現地で活動。これからも被災地に寄り添う活動をすすめていきます。



コープいしかわへの配送派遣支援 (3/18~22)

「能登を笑顔に」 全国からの応援メッセージ



コープいしかわ「のとセンター」の事務所には全国から寄せられた応援メッセージが壁一面に掲示されています。パルコプからも、総代さんが書いてくださったメッセージを届け、「能登を笑顔に」の看板の下に飾られています。

日本生協連によるコープいしかわへの支援の呼びかけに、パルコプから2名の職員を派遣しました(2月に続いて2回目)。全国17生協から計28名が集まり、それぞれ地域に分かれて代走を行いました。

大阪府生協連ボランティアバス (4/12~14)



築150年の歴史ある家屋。家族との思い出の品がたくさんあり、捨てる物、残す物を依頼主様にひとつずつ確認しながら作業しました。



大阪府生協連主催の第3回ボランティアバスに、パルコプから7名の職員が参加しました(参加人数計29名)。今回は、能登町にある被災者宅の清掃・家財撤去作業と、輪島市での炊き出し(たこ焼き・ラーメン・炊き込みご飯・コーヒー)を行いました。



「能登半島地震支援募金」にご協力ありがとうございました

募金総数：のべ40,657名 45,841,958円

1月5日より取り組んだ募金のうち、3月15日に32,232,319円を第1次として送金、6月28日に13,609,639円を第2次送金しました。全国から寄せられた募金は約16億円。集約している日本生協連では、被害の大きかった石川県をはじめ富山県・新潟県へ募金をお届けし、そのほか石川県社会福祉協議会など被災者支援組織4団体へ送金しました。

新たな「能登半島地震支援募金」にご協力お願いします

おおさかパルコプでは、組合員さんからの声を受け、大阪からできる支援としてあらためて募金に取り組めます。送金先は、

- ①日本赤十字社を通じて、被災された皆様への義援金及び被災地支援金としてお届け
- ②現地で活動している被災者支援団体へお届け

◆共同購入(班配・個配)は
9月1回~12月5回まで
募金カンパ欄【1416】にて



①と記入すると100円の募金となります(100円単位)
※100と記入すれば1万円の募金になります
※この募金は、所得税の寄付金控除の対象となりません。
※募金については、記入していただいた回のみ募金になります。
※「子ども食堂支援募金」は6ケタ番号【001422】で受け付けています。

◆店舗・組合員会館の募金箱では12月末まで受け付け



インターネット注文(エフレックス)からは、「募金」ボタンから入力してください。

大阪府生協連ボランティアバス (5/5~7)



大阪府生協連主催の第4回めのボランティアバスには、12名の職員が参加しました（参加人数 計34名）。能登町で津波によって被災された自宅の土砂を取り除く作業や、家屋からの廃材の運び出しを行うチームと、輪島市で行うNPO法人リエラさんの炊き出しを手伝うチームに分かれて活動。午後からは、大阪メンバー全員で焼きそば、たこ焼きなどを提供しました。なかには、大阪のたこ焼きを楽しみに待ってくださった方も。



大阪府生協連ボランティアワゴン (5/31~6/2)



この間のボランティアバスに参加した経験者を中心に、ワゴン車2台を運転して大阪から輪島市入りしました（パル職員4名・全体で12名）。お昼にはお弁当、夜ごはん用には焼きそば、焼き鳥、枝豆などを提供。毎回場所を提供してくださる輪島市町野町の「もとやスーパー」で、前店主のお父さん（一郎さん）が朝から夕方まで、来店される住民の方に声をかけられて談笑されていました。町野町ゆいっつのスーパーとして果たされている役割は大きく、コミュニティの場も提供されています。



大阪府生協連ボランティアワゴン (6/14~16)

大阪府生協連主催のボランティアワゴンの2回目には、4名が参加（参加人数 計32名）。今回も輪島市「もとやスーパー」前で炊き出しを行いました。



参加者から、「能登半島は3月に行った時と、道も家屋も変わらない状態で復興はまだまだと痛感しました」と厳しい現状を聞きました。



被災者支援団体への 車両寄贈も行なっています



2018年の西日本豪雨災害でパルコープの支援ボランティアの受け入れをしてくださっていた、コミサガひろしまさんも輪島市を拠点に瓦礫の撤去作業などの支援にあたられています。その際、当時パルコープが寄贈した重機（写真右）も活躍。今回新たにワゴン車を寄贈しました。



能登の現地で支援活動を進めるために動いてくださっている団体のひとつ、NPO法人リエラさん。地震後いち早く現地入りし日本生協連や大阪府生協連とも連携しながら街の復旧・復興のために尽力されています。パルコープで使用していた車両2台を寄贈しました。

◆パルコープ能登半島地震復興支援の取り組みは動画でも見ていただけます

<https://www.palcoop.or.jp/shinsai/noto/movie/2024/0611.html>

スマートフォンなら
こちらから →→→



「くらしの公開講座」開催

テーマ

ふだんからの防災への心得とは ～能登半島地震被災地の現状と課題～

参加費
無料

事前にお申し込みください

締め切り 9月2日(月)

〈京橋会場〉

定員：40名

パルコープ京橋事務所（本部）

- 大阪市都島区東野田町1丁目5-26
- JR・京阪電車・地下鉄「京橋」下車



日 時 9月19日(木) 10時～12時ごろ

話し手 松永 鎌矢さん NPO法人リエラ 代表理事

大分県中津市出身。九州北部豪雨からの復興支援のため日田市地域おこし協力隊に着任し、ボランティアセンターを運営しながら日田市の復興支援および防災活動に取り組んだ。2019年4月、今後の災害に備えるため、NPO法人リエラを立ち上げ活動している。

★京橋会場参加か、Zoom（ズーム）を利用したオンライン参加かを選ぶことができます。

申し込み方法

ホームページからの申し込みのみとさせていただきます。ホームページの専用フォームよりお申し込みください。

※結果はメールにて9月9日(月)までにご連絡します。

※応募で得た個人情報はこの講座の企画案内以外には使用しません。

スマートフォンの方は
こちらから→



https://www.palcoop.or.jp/form/survey/kurashi_kouza/

お問い合わせ

組合員サービスセンター ☎0120-299-070 携帯からは072-856-7671(有料)

(月・土 9:00~17:00 火~金 9:00~18:00)

主催：生活協同組合おおさかパルコープ